

形成外科

I 研修目標

専攻科にかかわらず、体表の損傷・病変のプライマリーケアができることは、臨床医であれば必要とされる能力である。短期間であるが、将来的にも役立つ体表外科の技術・考え方を中心に身につける。

II 一般目標

日常診療の中で診療チームの一員として患者さんに接し、基本的な外科手技・検査結果の理解・診察方法の習得を目指す。

III 具体的目標

- ① 形成外科の手術器具等の特徴と使用法を理解できたか。
メス、剪刀、フック鑷子、鉗子、バイポーラー、電気メス
- ② 形成外科の基本手技を正しく実施できるか。
傷の扱い方、真皮縫合・表皮縫合、切開排膿
- ③ 創傷の形成外科的治療ができるか。
軟膏の選択、処置方法、縫合方法
- ④ 特殊部位の創傷を理解し、対処できるか。
顔面軟部組織損傷、顔面骨骨折、顔面各部損傷（眼瞼、口唇、耳介、鼻等）、手指の損傷
- ⑤ 熱傷の病態、治療法を理解できるか。
保存的療法（治療薬の選択）、手術療法（適応、時期、方法）
- ⑥ 皮膚、軟部組織腫瘍を理解し、対処できるか。
手術方法（デザイン、摘出範囲）、腫瘍分類
- ⑦ 肥厚性瘢痕、ケロイドを理解し、対処できるか。
成因、臨床像、臨床経過、治療法
- ⑧ 褥瘡、難治性潰瘍を理解し、対処できるか。
発生原因、好発部位、検査法、保存療法・手術療法
- ⑨ 先天奇形を理解し、対処できるか。
各部位の形態発生、解剖、治療法
- ⑩ その他
眼瞼下垂の評価方法、治療法の理解

IV 指導体制

指導医とチームを組んで外来、入院患者の診療を行いながら学びます。

	月	火	水	木	金
午前	外来	手術	外来	外来手術	外来
午後	褥瘡回診	手術	手術	外来	

・適時病棟回診を行います。